

衝突被害軽減ブレーキ

目的

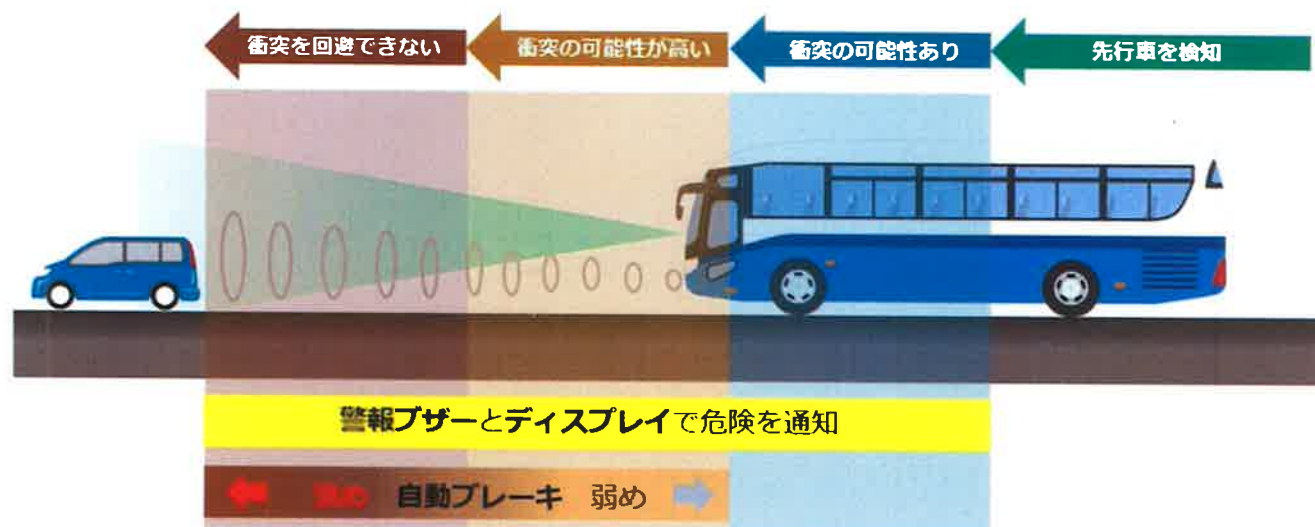
追突事故の被害を軽減または回避する

機能

- * 車両前部のセンサーが前方の車、人、障害物を検知
- * 衝突の危険が高まると警報として、運転者に音や警告灯で回避行動を促す
- * 運転者が回避行動をとらない場合は、運転者に代わり自律自動ブレーキが作動
- * 天候などの走行環境、路面状態、自動車の速度等により**作動しない場合がある**

注意

<イメージ>



ふらつき注意喚起装置

目的

低覚醒状態（居眠り、注意力散漫など）による事故の防止

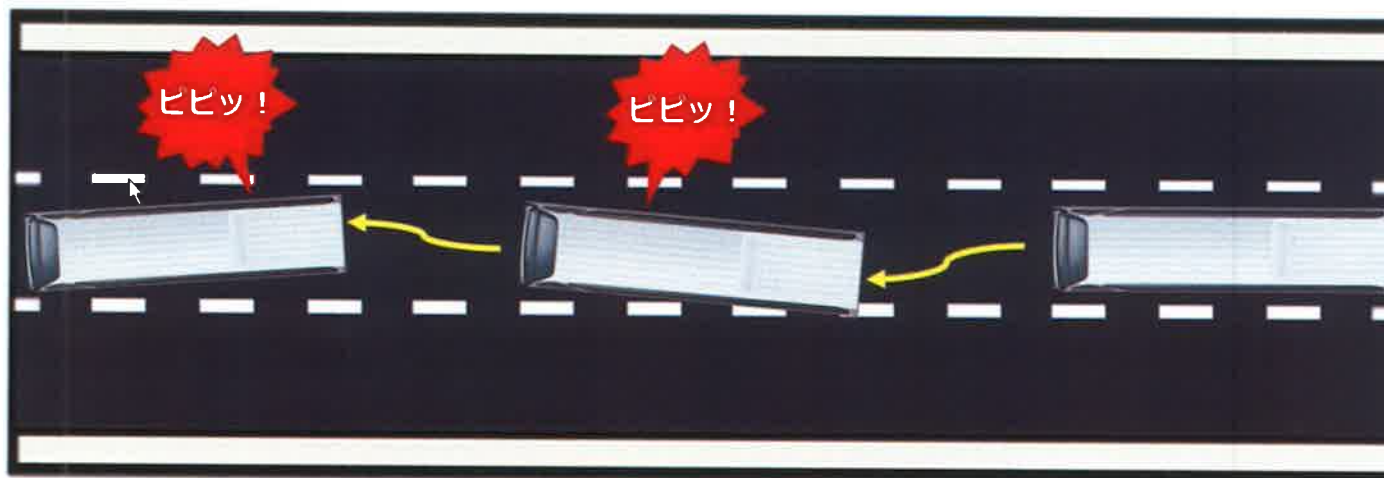
機能

- * ドライバーの低覚醒状態や、低覚醒状態の時の挙動を検知し、ドライバーに注意を喚起
- * 規定速度以上で走行中、ハンドル操作のふらつき具合の増大を検知して警報する

注意

- * 道路状況、車両状態、天候状態によっては**作動しない場合がある**
- * 走行環境や運転操作によっては、ふらつきを**検出できない場合がある**

<イメージ>



車線逸脱警報装置

目的

車線を逸脱するおそれ、逸脱したことを警報する

機能

- * 方向指示器を操作せずに車線を逸脱しそうになると警報音を鳴らしディスプレイに表示
- * およそ時速60km/h以上・曲線R 250m以上で作動
- * タイヤ外側の逸脱が約0.3mを超える手前で警報

注意

- * 道路状況、不明瞭な車線、などは正確に車線を検知しない場合がある
- * 車両状態、天候状態によっては作動しない場合がある
- * 後付け装置の場合、**方向指示器と連動していない場合がある**

<イメージ>

